

特集・逝ける映画人を偲んで（1977～78）

映画史に光彩を放った秀作の創造に大きく貢献し、近年（1977～78年）惜しまれつつ逝去された内外の映画監督、脚本家ならびに俳優の方々から14人を偲んで、それぞれの代表的作品により生前の業績を回顧することとし、ここに「特集・逝ける映画人を偲んで」を企画開

催いたします。ひろく映画研究者、愛好者の方々の御鑑賞をおすすめいたします。
フィルムセンター

日曜・祝日は休館、毎日午後3時、6時15分開映。先着順にて定員239名に達し次第入場を締め切ります（開館は12時30分）

一般200円・学生140円・小人100円

期 日	題 名	製 作 年	監 督	出 演 者
8月7日(月)	上海陸戦隊 (89分)	東 宝・1939年	熊 谷 久 虎	沢村勉 (脚本)、大日方伝、原節子、清川荘司
8日(火)	ヒッチ・ガール(104分)	フランス・1961年	J. オードリー	アガート・エームス、J=C・ブリアリ、リノ・ヴァンテュラ
9日(水)	オヴァラングース (67分)	イギリス・1946年	ハリ・ワット	マイクル・バルコン (製作)、チップス・ラファァーティ、ダフニ・キャンベル
10日(木)	泣虫小僧 (80分)	東京発声・1938年	豊 田 四 郎	栗島すみ子、藤井貢、逢初夢子、市川春代、
11日(金)	雁 (102分)	大 映・1953年	〃	高峰秀子、芥川比呂志、三宅邦子、東野英治郎
14日(月)	甘い汗 (119分)	東京映画・1964年	〃	京マチ子、桑野みゆき、佐田啓二、池内淳子
15日(火)	旅路の果て (100分)	フランス・1939年	J. デュヴィヴィエ	ヴィクトル・フランサン、ミシェル・シモン、ルイ・ジューヴェ
16日(水)	生さぬ仲 (無声・78分)	松 竹・1932年	成 瀬 巳喜男	奈良真養、筑波雪子、岡田嘉子、岡譲二
17日(木)	上陸第一歩 (87分)	松 竹・1932年	島 津 保次郎	〃、水谷八重子、岡譲二、河村黎吉
18日(金)	愛情は深い海のごとく (99分)	イギリス・1955年	A. リトヴァク	テレンス・ラティガン (脚本)、ヴィヴィアン・リー、ケネス・モア
21日(月)	荷車の歌 (140分)	全 農 映・1959年	山 本 薩 夫	望月優子、三国連太郎、左幸子、岸輝子、浦辺粂子、水戸光子
22日(火)	日本の悲劇 (116分)	松 竹・1953年	木 下 恵 介	〃、桂木洋子、佐田啓二、田浦正巳、高橋貞二
23日(水)	米 (116分)	東 映・1957年	今 井 正	〃、中村雅子、江原真二郎、木村功、中原ひとみ、加藤嘉
24日(木)	きけわだつみの声 (108分)	東横映画・1950年	関 川 秀 雄	河野秋武、伊豆肇、原保美、信欣三、沼田曜一、杉村春子
25日(金)	第二の人生 (90分)	東 宝・1948年	〃	山村聰、岸旗江、藤原釜足、赤木蘭子、志村喬
28日(月)	チャップリン特集 替え玉、スケート、番頭、舞台裏	アメリカ・1916年	C. チャプリン	チャールズ・チャプリン、エドナ・パーヴィアンス、ロイド・ベーコン
29日(火)	祇園囃子 (84分)	大 映・1953年	溝 口 健 二	進藤英太郎、木暮実千代、若尾文子、浪花千栄子、河津清三郎
30日(水)	或る夜の殿様 (113分)	東 宝・1946年	衣 笠 貞之助	〃、長谷川一夫、山田五十鈴、高峰秀子、大河内伝次郎
31日(木)	朗らかに歩め (95分)	松 竹・1930年	小 津 安二郎	高田稔、川崎弘子、伊達里子、坂本武、吉谷久雄、松園廷子
9月1日(金)	水戸黄門 (73分)	日 活・1935年	荒 井 良 平	市川百々之助、大河内伝次郎、沢村国太郎、高津愛子
4日(月)	最後の決死隊 (85分)	イギリス・1957年	M. キャレラス	レオ・ゲン、キロン・ムア、ジョン・ポール、マイケル・メドウィン
5日(火)	ひめゆりの塔 (126分)	東 映・1953年	今 井 正	河野秋武、津島恵子、岡田英次、香川京子、小田切ミキ、信欣三
6日(水)	黒い潮 (113分)	日 活・1954年	山 村 聰	〃、山村聰、津島恵子、左幸子、滝沢修、東野英治郎

沢村 勉 1915年9月12日、高知市に生まれる。東大美学科卒業後〈映画評論〉同人、読売新聞文化部嘱託として映画批評を担当した後、東宝、興亜映画、日本映画社と脚本家として契約、「上海陸戦隊」、「指導物語」(熊谷久虎)、「東洋の凱歌」(構成・沢村勉)、「海軍」(田坂具隆)などの話題作の脚本を担当、戦後は芸研プロ、松竹と契約して「フランチェスカの鐘」(大曾根辰夫)、「南風」(岩間鶴夫)、「長崎の歌は忘れじ」(田坂具隆)、「沖繩健児隊」(岩間鶴夫)など多数の作品がある。1977年6月13日敗血症のため死去。享年61歳。
Jacqueline AUDRY 1908年9月25日、フランスのオランジュに生まれる。1933年頃からスクリーン・ガールとして働き、G. W. パブスト、マックス・オフェールの助監督を経て、1945年“Les malheurs de Sophie”で女流監督としてデビュー、以来「処女オリヴィア」など女性らしい細やかな感覚の数作品を発表。1977年6月30日死去。享年68歳。
Michael BALCON 1896年、イギリスのパーミンガムに生まれる。ヴィクトリ映画会社で監督をしていたが、後ゲインズボロを創立し、1932年ゴーモン・ブリティッシュ設立に際し二社の製作責任者となり、36年にはMGM、38年にはイギリス撮影所の責任者となり、イギリス映画界育ての親ともいえる存在であった。48年に“サー”の称号を得た。1977年10月16日死去。享年81歳。
豊田 四郎 1905年12月25日、京都市に生まれる。府立一中卒業後、長兄を頼って上京し、日活向島の監督で脚本家の田中栄三に師事し、その紹介により松竹蒲田に入社して島津保次郎の門下に入る。「彩られる唇」(1929)で監督に昇進し、多彩な演出技巧は目を見張らせるものがあつた。しかし彼の名を一躍知らしめたのは東京発声に移籍した後、石坂洋次郎のベストセラー小説「若い人」を映画化してヒットし、次々に文芸作品の映画化に本領を発揮

した。戦後も「雁」(1953)、「夫婦善哉」(1955)、「雪国」(1957)、「甘い汗」(1964)等を発表し、病気で倒れた後も「恍惚の人」(1973)で美事にカムバックし、抒情性の中に軽いユーモアをおりませて、一貫して女性を描き続けた日本を代表する映画作家の一人であった。1977年11月13日、北大路欣也の結婚式でスピーチを終えた後倒れて死去。享年71歳。
Victor FRANCEN 1888年8月6日、ベルギーのティルルモンに生まれる。パリに出て演技を勉強し、ベルンスタインに目をかけられて、ジムナズ座やコメディ・フランセーズに所属した。映画にはデュヴィヴィエ脚本の「恐怖十年」(22)から出演し、端麗な容姿で人気を集め、アメリカに渡って「夜も益も」、「武器よさらば」、「ファニー」などにも出演した。1977年11月30日死去。
奈良 真養 1896年11月30日、秋田に生まれる。大館中学卒業後に農商務省工業試験所に一時勤務し、1920年設立されたばかりの松竹蒲田に入社、翌年野村芳亭監督の「夕刊売」で映画にデビュー、以後松竹はえぬきのスターとして活躍、松竹大船撮影所の演技課長として後進の指導にあたった。1977年11月26日死去。享年80歳。
Terence RATTIGAN 1911年ロンドンに生まれる。オックスフォードで学んだ後、劇作家として活躍し、脚本家としては「旅路」、「超音ジェット機」、「王子と踊り子」、「予期せぬ出来事」、「黄色いロールスロイス」、「チップス先生さようなら」などの作品がわが国でも公開されている。1977年11月30日死去。
望月 優子 1918年1月28日、東京に生まれる。忍ヶ岡高女を中退後、浅草カジノフォーリー、ムーランルージュ、新生新派、劇団民芸を経て、1948年、渋谷実監督の「四人目の淑女」で望月美恵子の芸名でデビューした。1953年、木下恵介監督の「日本の悲劇」における熱演で毎日映画コンクールの主演女優賞を獲

得、演技派女優としての地位を確立、57年の「米」ではブルーリボン賞の主演女優賞を得、
「日本のお母さん」として親しまれ、底辺に生きる女性像を体当りの演技で演じた。参議院議員を一期勤めたが、再選を狙った選挙運動の過労から病気になり、1977年12月1日死去。享年60歳。
関川 秀雄 1908年12月1日、新潟県に生まれる。1936年上京してP. C. L. に入社、同期に黒沢明がいた。東宝に移って1944年、記録映画「大いなる翼」で監督に昇進、東宝争議で最後まで闘い、その間「第二の人生」を発表。1950年東横映画に移って、彼の名を知らしめた「きけわだつみの声」を発表した。児童劇映画、記録映画にもその才能を発揮し、
「警視庁物語」シリーズでは一際光る作品を残している。1977年12月16日に死去。享年69歳。
河野 秋武 1911年10月8日、長崎に生まれる。東京物理学校中退後、1931年から42年まで前進座に所属し、この間1934年の「段七しぐれ」に初出演し、前進座を退団後は東宝に所属、黒沢明の処女作「姿三四郎」をはじめ、一連の彼の作品で硬派の脇役をつとめた。戦後はフリーとして多くの作品に出演、地味ながら手堅い演技で注目をひいた。1978年3月16日死去。享年66歳。
Charles CHAPLIN 1889年4月16日ロンドンのウォールワースに生まれる。ミュージック・ホールの芸人の子として育ち、幼い時から両親の離婚や貧困の中での母の発狂という体験に出会い、兄と孤児院に入る。子供の時から舞台上に立ち、パントマイムで好評を得、21歳の時アメリカに渡るチャンスとなった。ミュージック・ホールに出演中マック・セネットに見出され、1913年セネットとキーストン社と契約。ロヒゲにダブダブのズボン、ドタ靴にステッキと山高帽のスタイルで一躍人気者となる。トーキー時代を迎えても、無声期

のコメディアンが没落していく中で彼だけは喜劇王として君臨し続け、世界の人に笑いと勇気を与え続けた。1977年12月25日、スイスのレマン湖畔の自宅で88歳の生涯を閉じた。
進藤 英太郎 1899年11月10日、福岡に生まれる。食料品店経営から舞台俳優に転じ、松竹や関西新派で活躍していたが、1936年第一映画の「浪華悲歌」(溝口健二監督)に初出演してから映画界に入り、溝口作品では多くの作品における個性的な風貌と演技は多くの人々に親しまれた。1977年12月18日死去。享年78歳。
高田 稔 1899年12月20日、秋田県に生まれる。音楽学校で学んだ後オペラ界に入り、1924年帝キネに入社して「大盗伝」(松本英一監督)でデビュー、東高キネマ、ノル映画を経て、1928年松竹蒲田に入社、日本人離れた端正な容顔で人気を博した。1931年には鈴木伝明、岡田時彦と共に松竹を脱退して不二映画を設立、1943年には新興キネマ高田プロ、1937年に東宝に入社する。戦後は劇団を結成し、フリーとして活躍した。1977年12月27日死去。享年78歳。
市川 百々之助 1907年広島に生まれる。5歳の時から舞台上に立っていたが、1922年に帝キネに入社、無声映画期の時代劇スターとして一世を風靡し、阪東妻三郎と人気を二分した美男スターとして活躍。1938年に映画界を引退した後、浅草などの舞台で活躍していた。1978年1月15日死去。享年71歳。
Leo GENN 1905年8月9日ロンドンに生まれる。ケンブリッジ大学に学んだ後、舞台で活躍するようになり、35年から映画にも出演するようになり、米英で多くの作品に活躍した。「ヘンリー五世」、「白鯨」、「史上最大の作戦」、「北京の55日」などの出演作がある。1978年1月26日死去。

土曜特集：各国特選

入館方法、入館料は平日と同じ（ヒルは午後3時、ヨルは午後6時15分開映。ヒル・ヨル全館入れ替え制）★印の8月12日、9月2日のみヒルの回は午後3時30分開映

期 日	題 名	製 作 国	製作年	監 督	出 演 者
8月12日	★もだえ (101分)	スウェーデン	1944年	アルフ・シェーベルイ	スティグ・イエレル、アルフ・シェリン、マイ・ゼッターリング
ヨル	野いちご (91分)	〃	1957年	イングマル・ベルイマン	V・シェーストレム、I・テューリン、G・ビュルンストランド
19日	わかれ道 (99分)	ア メ リ カ	1964年	ラリー・ピアース	バーバラ・ラリー、バーニー・ハミルトン、リチャード・マリガン
ヨル	リサの瞳のなかに (83分)	〃	1962年	フランク・ベリー	キア・グリ、ジャネット・マーゴリン、ハワード・グ・シルヴァ
26日	価値ある男 (100分)	メ キ シ コ	1961年	イスマエル・ロドリゲス	三船敏郎、コロンバ・ドミンゲス、フーレル・シルベストレ
ヨル	バサジェルカ (61分)	ポーランド	1964年	アンジェイ・ムンク	アレクサンドラ・シュロンスカ、アンナ・チェビエレフスカ
9月2日	★戦争と貞操 (92分)	ソ 連	1957年	ミハイル・カラトゾフ	タチヤナ・サモイロフ、アレクセイ・バターロフ、
ヨル	僕の村は戦場だった (94分)	〃	1962年	アンドレイ・タルコフスキー	ニコライ・ブルリャエフ、V・ズヴコフ、E・ジャリコフ

東京国立近代美術館 **フィルムセンター** 中央区京橋3-7-6 地下鉄・京橋(銀座線)、宝町下車(都営浅草線) ☎(561) 0 8 2 3

竹橋・美術館 7月22日～9月3日まで 「佐伯祐三展」
〃・工芸館 6月20日～9月17日まで 「松田権六展」